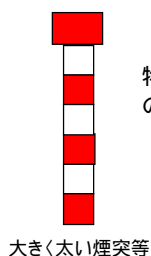


2. 昼間障害標識(赤と白の交互に塗色したもの)の削減策

a. 大きく太い煙突等への昼間障害標識を設置不要とする扱い

[現行基準]



大きく太い煙突等

物件の幅が高さの10分の1以下
の場合、昼間障害標識を設置



[今回方向性]



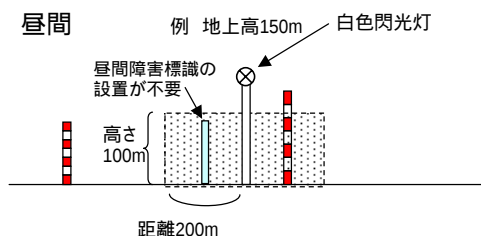
{ ・ 一定以上の幅を有する
・ 航空機からの視認性が確保される配色 }

物件の幅が高さの10分の1以下であっても、
昼間障害標識の設置不要

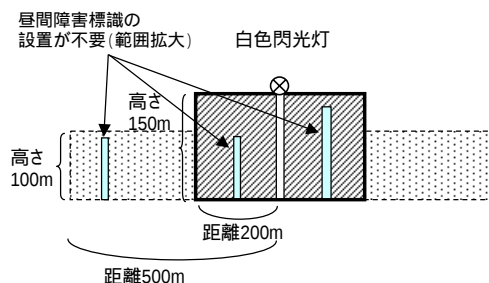
具体的数値や色彩等条件については、要検討

b. 白色閃光灯(ストロボライト)による昼間障害標識を設置する必要のない範囲の拡大

[現行基準]

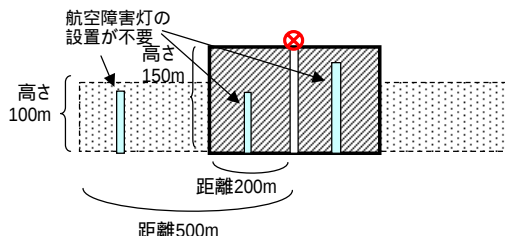


[今回方向性]



< 参考: 夜間 >

夜間の航空障害灯による扱い(航空障害灯が不要となる範囲)



3. ライトアップ等による代替策

[今回方向性]

例 東京タワー



ライトアップ時における
障害灯の消灯を可能とする

具体的な必要な明るさ、範囲等の条件については、要検討